



Walk with Children

めぐろ



せいび

169 号

2021 年 5 月

「空の鳥を見なさい。種を蒔くことも刈り入れることもせず、また倉に納めることもしない。それなのにあなたがたの天の父は、これを養ってくださるのである。あなたがたは鳥よりもはるかにすぐれているではないか。…だから、明日のことを思い煩ってはならない。…その日の苦勞は、その日だけで十分である。」

(マタイ6章26-34節より)

校長 シスター 小 島 理 恵

新年度がスタートして、早一か月が過ぎます。1年生も少しずつ登校に慣れ、朝礼前の支度にかかる時間も短くなってきました。「明日も学校はありますか？」と質問し、「ありますよ！」という担任の返事に、「やったあ！」とジャンプしながら喜ぶ1年生を目の当たりにすると、やはり子ども達にとって学校は楽しいところなのだと改めて感じさせられます。

さて、新型コロナウイルス対策で、東京、大阪、兵庫、京都の4都府県に、3回目となる緊急事態宣言が発出されました。感染症収束の兆しが未だ見えないまま5月に入り、学校はどうなるのだろうと心配しておられるご家庭も多いのではないのでしょうか。しかし、学校は、これまで行ってきたように感染予防をしっかりと行いながら、可能な方法で学習活動ができるように取り組んでまいります。

5月は、ドン・ボスコを創立者として仰ぐ本校にとっては特別な月ともいえます。それは、ドン・ボスコのもとで学び、青少年の模範として生きたドメニコ・サヴィオと、ドン・ボスコと共に本校の創立者として仰ぐマリア・ドメニカ・マザレロの2人を記念する日

(6日と13日)、そして、ドン・ボスコの生涯を導いた聖母マリア様のお祝い日(24日)があるからです。(カトリック教会の暦では、このような聖人を記念する日が年間を通じて定められています。)

これらの記念日には、その聖人の取次ぎを願って祈りを捧げます。保護者の皆様も、子ども達と心を合わせてお祈りくだされば幸いです。

聖ドメニコ・サヴィオの記念日

5月6日

ドメニコ・サヴィオは、12歳でドン・ボスコの学校に入り、「青少年の模範」とされている少年です。14歳の生涯を通じて、変わらない平静さの中で快活さを保ち、よく祈りよく勉強し、自分のやるべきことを心をこめてきちんとし、友達と仲良く心から遊びながら、聖人になっていく努力をしました。



聖マリア・ドメニカ・マザレロの記念日

5月13日

マリア・ドメニカ・マザレロは、イタリアのモルネーゼの農家に生まれ、そこで積極的に畑仕事をし、神様の勉強も一生懸命しました。ある日、「あなたにこの子どもたちをまかせます」という聖母マリア様の声を聞いたマリアは、裁縫を習って少女たちのための裁縫教室を開き、女子の教育活動を始めました。



聖母祭

5月24日（月）

～聖母祭～

聖母マリアは、ドン・ボスコの幼年・少年・青年期を通して夢の中に出現し、彼の将来の事業を示し、生涯にわたって必要な恵みを与えられました。ドン・ボスコは、聖母から受けた恵みに感謝を表すために、特に聖母月である5月の24日を特別な恵みに感謝する日とし、「徳の花」を準備して荘厳な行列をもってお祝いの心を表していました。

私たちもドン・ボスコの精神を受け継ぎ、皆で共に聖母マリアから受けた恵みへの感謝と世界の平和を願います。

当日はテレビ放送を通して、心をひとつにお祈りします。

～徳の花～

お祝い日のため、心の準備として「徳の花」を実行します。目に見える花束とは違い、優しさや思いやりなどのよい行いで心を整え、お祝い日を迎えます。学校では「徳の花」のしおりを配り、毎日実行します。週末はしおりを持ち帰りますので、ご家庭でいっしょによい行いをしていただけましたら幸いです。



読書月間



5月6日～31日

5月6日（木）より読書月間が始まります。子ども達に読書の楽しさをより知ってもらいたいという願いのもと、朝の時間をつかってじっくり本と向き合います。特に月間中は「目黒星美学園小学校 おすすめ図書100冊」の中から本を選んで読みます。読書月間の最初に「読書目標」を書いて、1か月間目標を意識して読書に臨みます。

「おすすめ図書100冊」は、子ども達の持っている「読書ノート」にリストがあります。また、5月の学年通信にも各学年ごとのリストを掲載します。

お子様と一緒に、「おすすめ図書100冊」の世界にとびこんでみてはいかがでしょうか。

令和3年度が始まり、始業式、入学式、対面式など、たくさんの行事に心が弾みました。

始業式・みことばの祭儀

4月6日

始業式・みことばの祭儀が行われ、いよいよ新学期のスタートです。教室での式となりましたが、子ども達は一人ひとりこれからの学校生活に胸をときめかせて、はりきって登校していました。今年度も頑張るぞという気持ちがひしひしと伝わる喜びにあふれた1日となりました。みことばの祭儀では、素晴らしい1年の始まりを神様に感謝すると共に、これからの学校生活が実り多きものとなりますように、心をひとつにみんなでお祈りをしました。

入学式

4月7日

今年度は、時間を分けてクラスごとの式となりましたが、気持ちの良い春風の中、元気に登校してくる1年生の姿がありました。みんなきらきらしていて、喜びと希望に胸を弾ませていました。



対面式

4月8日

全校児童で1年生をむかえる対面式。体育館には1年生と6年生が集まり、他の学年は教室でテレビ放送での参加となりました。

1年生と6年生は距離をとった状態でしたが、初めてペアを作って一緒に活動する喜びを感じていました。2年生が1年生の時に作ったメダルを首からさげた新1年生は、元気いっぱいに体育館を行進していてとてもかわいらしかったです。1年生は、在校生手作りのビデオから学校のことをたくさん知りました。



進級の喜び

～1つずつ学年が上がり、子ども達の気持ちも高まっています～

2年生になって

2ねんせい

わたしは、みんなとなかよくえがおであそびたいです。まい日えがおであいさつをして、やさしく、かっこいい2年生になりたいです。

1年生にやさしくいろいろなことをおしえたいです。学校 みんなとなかよくしたいです。いまよりおともだちがふえてほしいです。

学校ぜんたいが、えがおでかこまれるといいなとおもいます。

1年の抱負

6年生

6年生になった私は、2つの抱負を決めました。1つ目は、いつもとちがう環境で入学してきた1年生を精一杯サポートすることです。優しく細やかに対応したいです。2つ目は、残りの学校生活を後悔しないように充実した1年にすることです。日々の生活を大事にして、卒業するときに楽しかったと言えるようにしたいです。クラスの中では、友達と積極的に関わり、授業にも真面目に取り組もうと思います。それができる6年生になりたいです。

学校版 ほらできたよ展

6年生は、昨年度の図工の時間、松屋銀座で行われる「ほらできたよ展」に向けて、初めて電気のこぎりを使って木製のパズルを作成しました。残念ながら開催は中止となり、松屋銀座での展示は行われなくなってしまいました。

そこで年度が変わった4月、子ども達の作品を職員室前に展示しました。下級生が最高学年である6年生の心のこもった作品を見て、「自分でも作ってみたいな」「これどうやって作るの？」など興味津々で作品を見ています。

